

大声でつぶやく 46

# けったいな町医者

作家・医学博士 長尾和宏



橋幸夫さんが82歳で旅立たれた。

ありがとう、橋幸夫さん

つい3カ月前までステージで歌唱。天寿を全うされたのではないかな。  
夢グループの石田重

廣社長は「病床の橋さんは言葉を発せられずにいたものの僕に何かを伝えようとしていた」と。  
認知症を公表したのが5月。まだステージに立たれていた。夢グループの一員として京

阪神の舞台も巡っていた。でも、星が落ちるように旅立たれた。ほぼピンピンコロリ。  
僕が生まれて初めて聞いた歌謡曲は、「いつでも夢を」だった。レコード大賞を取った直後の紅白で聞いたとき、泣いた記憶がある。僕は何歳だったかなと調べてみると、なんと4歳だった。吉永小百合さんが眩しかった。多感だったのかな。

でも、4歳のときテレビはあったのかな。その辺は曖昧だけれど、あの独特の歌い方が子どもには「カッコいい」と記憶に残った。ありがとう、橋幸夫さん。そうですね。いつでも夢を持たないといけませんね、橋さん。この夏、ずっと自分の「夢」を探し続けている。でも、まだ見つかっていない...



長尾和宏  
オフィシャル  
サイト